

平成28年度 第3回栗東市健康づくり推進協議会 要旨

日時 平成29年3月1日(水)

14:00~16:00

場所 栗東市総合福祉保健センター研修室

出席者

会長	樋上 雅一	草津栗東医師会
副会長	尾崎 健太郎	草津栗東守山野洲歯科医師会栗東地区
委員	米田 明弘	びわこ薬剤師会
	北川 富美代	公募委員
	高須 緑	滋賀県南部健康福祉事務所(草津保健所)
	小林 弘美	栗東市生涯学習課(生涯学習推進係)
	濱井 義明	学校教育課
	田中 輝美	養護教諭部会
	島田 浩美	栗東市自治振興課

事務局 栗東市健康福祉部健康増進課

欠席者	水野 裕美	栗東市小中学校校長会
	妻鹿 奈美子	栗東市民生委員児童委員協議会連合会
	太田 忠行	栗東市社会福祉協議会
	上野 容子	栗東市商工会事務局
	鈴木 淳子	健康推進員連絡協議会

1. 開会

○委員出席状況の報告

委員 11 名と過半数の出席で、要綱第 5 条 2 項により会議成立。

○会議の公開について

○資料確認

2. あいさつ

会長：本日はご出席ありがとうございます。事前に頂いた調査票をみると患者さんには運動を勧めたりしているが自分ではなかなかできていないと感じた。健康のために、市全体を考えていくことが必要であると思っています。今日はよろしくお願いします。

3. 協議事項

(1) 「あなたの健康ささえ隊」事業意向調査、新規協力事業所進捗状況について

- ・「あなたの健康ささえ隊」事業意向調査、新規協力事業所進捗状況について説明した。
質問、意見なし

(2) 市民の健康づくりをサポートするまちづくりのための取り組みについて

①各関係機関でのとりくみの進捗状況と課題、方向性について

事務局：1 回目の会議で今年度の取り組みや、重点的な取り組みを発表していただきました。今年度 1 年間の健康づくりの取り組みの成果や課題についてや、来年度見直しを行う事業や、新規事業など発表していただきたいと思います。

会長：事務局から説明がありました。今年度取り組みをしてみてもの成果や課題、来年度見直しを行う事業、新規事業など中心にご意見をお願いします。

委員：けん診実施しているが、受診率が向上しないことが課題であると思う。GP ネットは精神科と連携し実施している。歯科との連携も行っている。来年度はロコモ予防をテーマに市民フォーラムを開催する予定。

委員：かむかむフェスタの実施や、出前トークを実施したり、昨年度と大きく変わらなかった。

委員：お出かけトークを学生や高齢者対象に実施した。未成年で妊娠したかどうかを確認するために薬局に検査薬を買いにくるところで、それぞれの薬局で定期的に妊婦健診を受けるように声掛けをしている。

委員：啓発活動は、継続して実施。他に給食施設に訪問し、栄養だけでなく、運動や禁煙指導を行ったりしている。がん対策も行っており、部会を開催したり、受診啓発など行っている。

委員：ふだんの生活習慣アンケートは平成 18 年度から毎年行っており、継続は力なりで、良い方向には向いている。また、県と合わせて「すこやかタイム」を実施し、運動の啓発を行った。

委員：平和学習で健康推進員さんの協力を得て、戦時中の食事としてすいとんや、芋づるのお味噌汁を作っていた。煮干できちんとだしをとってもらったが、煮干を知らない子もいて、魚の死骸が入っていると言っていた子もいた。また薬物乱用教室として、少年センターに依頼し実施したところもあった。

委員：協働のまちづくりということで、マルシェや地産地消の取組み団体に助成金を交付した。

委員：お弁当の日に合わせて食育週間を実施した。体験学習では職場体験や家庭科でのふれあい体験を実施した。

委員：それぞれの領域で取組みを実施。栄養では食育推進計画の推進をしました。プロジェクトWで野菜たっぷりレシピの作成をしたので、それをどのように活用していくかが課題。ここでは、講演会を毎年対象を変えて実施し、今年度は健康推進員の現任研修で実施した。健康推進員さん同士で情報交換されたり、知り合いに広められたりされていた。来年度は、職域と連携し実施できたらと考えている。

歯では、う歯のない3歳児の割合は滋賀県平均よりも低く、不正咬合率において県平均より高値であるため、実施している指導内容や啓発内容の全体的な見直しが必要である。また、妊娠時にも積極的に歯科健診について啓発をしていく予定である。

禁煙では、今年度小学5年生に加え、中学1年生にも喫煙防止教室を実施した。夏休み前に聞くことで、改めてタバコを吸わないことへの意識付けになったと思う。また、小学校で実施したアンケートでは、絶対にタバコは吸わない、お父さんお母さんにもやめるように言うなど、自分の身体を守る選択ができ、保護者など周囲への働きかけにもなっていると思われる。

がん検診では、周囲の人から声掛けをされて受診されている方もいるため、どこでどのような啓発があればよいか検討することが課題である。

会長：それぞれご意見いただきありがとうございます。健康りっとう21計画の推進では、前回会議でもありましたように、栗東市は特に男性の30代から肥満者やメタボ該当者が多いことや、女性においても年代が上がるにつれて肥満、メタボ該当者予備群が増加していることが課題です。生活習慣病の予防や早期発見、生活習慣の改善は、高齢になってからというよりも、子育て世代、働き世代にアプローチできたらと考えています。

会長：関係機関の課題などから、他の関係機関と一緒に取り組めそうなことや、質問などありませんか。

委員：健康手帳の活用について、どこで配付されているのか。

事務局：市の健診を受けた時や、がん検診時に配付している。5年分記載できるので、がん検診

をいつ受けたのか記載して活用していただいているが、健診結果を書き写して活用している人は少ない。病院にも配付しているので、希望すればもらえる。

委員：お薬手帳について、忘れていくと以前はシールをくれたが、最近は毎回発行しないといけなくなったのか、何冊も増えている。

娘が子宮がん検診を受診し、ハガキで検診の結果が送られてきたが、ゴミ箱に捨てていた。健康手帳にはさんでおくように伝えたが、初めてみたと言っていた。若い子は無関心で、検診結果を記録して行くことは必要であると思うので、20歳の成人式などで配付できたら、関心をもってもらえるし、検診も受けてもらえるのではないかな。

会長：健康手帳を配布するのは国保の人に限られるのか。

事務局：特に限ってはいない。もともとは、老人保健法で40歳以上の人に配布していた経緯があり、市で実施しているけん診を受けて希望されればお渡ししている。

委員：あるかどうか知らないと、使われない。20歳の献血とも言われているので、献血の記録など記録できるものがあればいいと思った。

事務局：20歳の人を受けられるのは、子宮がん検診だけであり、20歳の人を使用するには内容も上の年代向けである。若い頃からの検診の記録をとると、独自のものになると思われる。

委員：中学校の給食始まるのか。弁当の日は継続なのか。

委員：給食は平成30年9月からの予定で、弁当の日は継続される予定です。

防災教育で調理をすることになっている。生涯学習課が健康推進員さんの協力を得て、事業を実施されたと言われたが、こういうことでも健康推進員さんに協力していただけるのか。

委員：事業として、平和学習の一環として健康推進員にご協力いただいた。防災となると危機管理課になると思うので、一度問合せしてみても良いと思う。

②評価について（資料1）

事務局：資料1にそって説明した。

会長：事務局から評価について、実績、評価、次年度計画の記載について説明がありましたが何か質問やご意見はありますか

委員：実績のところの、いつどこでだれがどのようになど、ここまで詳しい内容が必要なのか。

事務局：全てにおいてではなく、イベントなどで日時や対象、参加者数などがわかれば、後期推進に向けて、啓発内容や、方法が検討できるのではないかと考えたので記載させていただいた。できる限りで、全てにおいてとは考えていない。

委員：評価、課題についても目標に対してとなると、それぞれの機関で事業目的が異なり、難しいと思われる。この評価表をどのように今後活用していく予定なのか。それによって記入内容が違ってくるのではないか。

事務局：それぞれの関係機関が取り組んだ内容に対して、どのように評価しどのようなことを課題ととらえておられるのかを記入してもらい、後期推進の中で関係機関でどのように取り組んでいけばよいか、検討できたらと考えている。

野菜たっぷりレシピやプロジェクトW、ポスターなど啓発できるようなイベントや取組みがあれば教えてもらいたい。

委員：各関係機関がそれぞれどのような取組みをしているのかがわかり、課題に思っていることに対して、それぞれの機関が一緒に取り組めるところがあれば取り組んで、より良いものになっていけばいいと思う。目標に対する課題となると記入が難しいのではないか。

委員：事前にいただき記入してみたが、評価指標をみて、取組みが目標にどこまで近づけているのかの評価となると難しかった。

会長：評価というと、取組みの前後でどのように変化したのかなどになると思うので難しいと思う。

事務局：数値目標については、来年度市民アンケートを実施し、評価指標などにより評価した上で、今後の取組みについて協議会で協議できたらと考えている。数字ではなく、市民の姿や、声は実際に関わった機関からしかあがってこない部分であると思うので、ぜひどのような成果があったのか、また取組みの中で課題と思われるのであれば、関係機関で協議できるかもしれないのでぜひ記入していただきたいと思う。

委員：評価ではなく、成果という表現のほうがわかりやすい。また、事業ごとの成果・課題よりも、領域ごとの記入でも良いのではないか。それぞれの機関で記入しやすい方法で記入してもらえたらいいと思う。

委員：事業ごととなると細くなりすぎて、記入も大変であると思う。

事務局：では、記載内容を、評価・課題を成果・課題に変更し、領域ごとでも事業ごとでも、そ

れぞれ記入しやすい方法でお願いしたい。また、イベントなど日時や対象、内容が詳しくわかるものについてご記入いただきたい。

(3) 中間評価に向けた「生活と健康に関するアンケート」内容について

事務局：来年度、中間評価を行うにあたり、計画策定時に実施した「生活と健康に関するアンケート」を実施予定です。策定時と比較をするため、アンケート内容は同じと考えている。

ただし、はじめのご協力のお願いの文章と、「あなたの健康のことについておたずねします」の項目に、問3として、「体重測定の頻度」の項目を追加してはどうかと考えている。

今回の会議で内容を決定していただき、業者が決まり次第、アンケートを実施する予定で、5月ごろに実施できたらと考えている。

会長：今回でアンケート内容を決定するということですが、ご質問やご意見はございますか。

体重計くりちゃんにしたのは何かあって変更したのか。

事務局：策定時のアンケートでは、まだこのくりちゃんしかイラストがなかったためと、今回は健康に関するアンケートなので体重計くりちゃんに変更した。

委員：問4のところの項目が、問4へととなっているので、問5ではないのか。

事務局：問5に変更しておく。

委員：策定時のアンケート実施時期は11月となっているが、5月の実施でいいのか。時期は考慮しなくていいのか。

事務局：時期については、来年度1年間で中間評価を行ない、後期推進について話し合うことから、5月頃の実施を考えています。最終評価の時、平成34年度に実施するアンケートでは策定時と同じ時期での実施も可能と考えています。

委員：5月と11月なので、そこまで生活様式がかわっているとは考えられないのではないかと
思う。

会長：真冬や真夏となると変わっているかもしれないが、5月と11月なのでよいと思う。

アンケート内容を決定するということだが、よろしいか。頻度について、週数回から、月1回とあるので、少し急に減っている感じがする。月数回でもいいのではとも思うが。

委員：体重測定の頻度について、国や県で同じような項目はなかったのか。そうすれば、他とも比較ができると思うが。

事務局：今回調べた限りではなかった。オムロンが実施したアンケート結果がアップされていた。

もう一度確認してみるので、体重測定の内容について、追加してもよろしければ、頻度の項目については、事務局に一任していただいでよろしいか。

会長：では、体重の項目を追加し、頻度については事務局に一任ということにさせていただきます。

4. 連絡事項

事務局：3月17日までに実績、評価、次年度計画をご記入頂き、健康増進課までメール、FAXでご提出をお願いします。

また、ご意見シートを用意しましたので、ご意見等ある場合はFAXをお願いします。

次回開催予定は、5月ごろを予定しています。異動などありましたらご連絡ください。

5. 閉会

副会長：これで第3回栗東市健康づくり推進協議会を閉会します。